

初夏の花 満開のスイスアルプス ハイキング アルバム

2008.6.29. - 7.8. 0808switz00.htm by Mutsu Nakanishi



7月の初め 10日間のスイスアルプスのツアーにいってきました。

ツアーといつても大手のツアーと違って トラマークの旅行社が主催する少人数とゆっくり連泊が売りのツアーで気楽なので、何回か参加したのですが、今回は6名の個人旅行見たいな物。ハイデッカーバスを占領し、ホテルはすべて山を部屋から見上げるとびっくりのスペース。

雪が消え、一斉に初夏の花が咲く花のスイス、アルプス季節。

氷河を抱いたアルプスの峰々とそれを背景に高山植物満開のお花畠ハイキングも堪能してきました。

まだ、写真整理できていませんが、そんな写真の羅列です。

1. 雪が消えて アルプスの山々には 初夏の花が満開

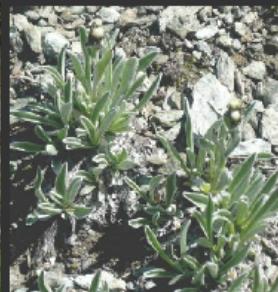
初夏の花といえば、岩肌にへばりつくエーデルワイスにアルペンローズも。
ただ、エーデルワイスはほとんど山では見られないのには以外でした。

でも、栽培されたのとは違う野生のエーデルワイスをマッターホルンの岩影で一株見つけました。

まだ、季節的には早いのか、まだ、花が咲いておらず、葉の様子がちょっと違うので、とまどいましたが……。



エーデル ウィス



野生のエーデルワイス



アメベンローズの群落



アイガー氷河が削った谷の花畠 2008.7.8.

2. 「エーデルワイスの花ほほ笑みて 鋭き岩肌 金色に照り
山は目覚めぬ 夏の朝風 雷雲 収まり 夕空晴れぬ
命のザイルに わが身をたくし 思わず仰ぐ アルペンクリューエン」

インターネットで調べた予想に反して、天候に恵まれ、サンモリットで「ピッツ・ベルニナ」ツェルマットで「モンテローザ」、マッターホルン、シャモニーで「モンブラン」、ドリュー」、グリンデルワルドで「ユングフラウ、アイガー、メンヒ」氷河を抱く頂上すべてを見られました。

また、モンブランでは吹雪でロープウェイが動かず1時間ほど閉じ込められましたが、そんな吹雪の中 ザイルをつないで 出発する登山パーティの姿を楽しんだり、久しぶりに冬の雪山に入った気分も。

「エーデルワイスの花ほほ笑みて 鋭き岩肌 金色に照り
山は目覚めぬ 夏の朝風 雷雲 収まり 夕空晴れぬ
命のザイルに わが身をたくし 思わず仰ぐ アルペンクリューエン」

昔よく歌った山男の「エーデルワイス」の歌ですが、まさにこの光景をみながら 歌っていました。

また、グリンデルワルドの夜明け アルプスにかかる虹も……

紺碧の湖に映るマッターホルン、そして、アイガー北壁もしっかり見てきました。

また、氷河が岩肌をさすった水が流れ込む森の中の小さな湖「グレーシャーブルー」というのだそうですが、ほとりに花が咲き乱れる白濁した青緑の湖が印象的でした。

■ 今回出会えた アルプスの峰々



カイスの最高峰 モンテザ



ヨーロッパの最高峰 モンブラン



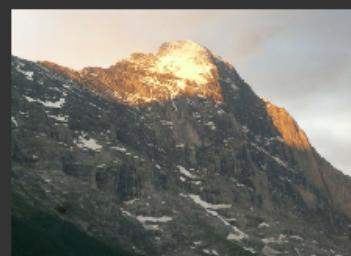
アルプスのランドマーク マッターホルン



垂直の岩壁 アイガーの北壁



秀麗な山 ユングフラウ



アイガーの隣でモルゲンロートに染まるメンヒ

■ マッターホルン



夜明け前



モルゲンロード



氷河の水で白濁した青緑グレーシャーブルーの湖の前に

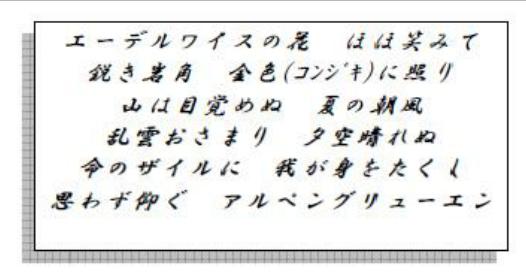


青空に聳える



湖に姿を映す

■ モルゲンロート & アーベントロート そして アルプスの上に二重の虹がかかりました



グリンデルワルト メンヒリッヘンの山に2重の虹



3. スイス アルプスは『鉄のモニュメント』『鉄の郷』

神戸に帰って 仲間が言うのですが、「さすがに スイス アルプスには『鉄』はなかったやろ」と……。
そんなことはありません。 スイスには 世界的な『鉄のモニュメント』『鉄の郷』が多数あります。

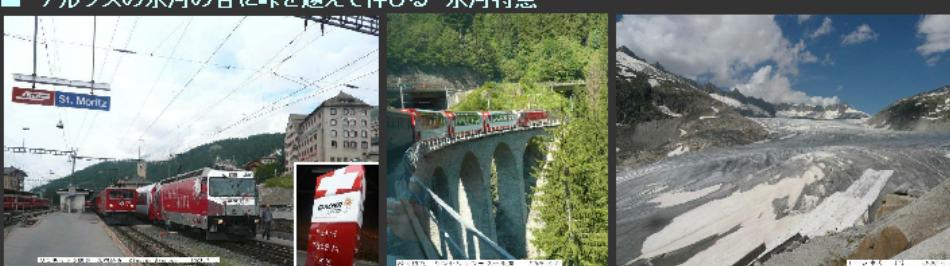
スイスは鉄道王国 アルプスの峰 谷 峠を越える路線が張り巡らされ、山にはアプト式の登山電車が延々と頂上へ
なんせ アイガーハーはその山体の中をループ状にトンネルがほられ、垂直に切れ落ちる北壁の中央部には駅があり、北壁の窓から外がのぞけ、
ユングフラウ肩のところ『ヨッホ』まで、電車が登る
線路の真ん中に真っ直ぐ ラックレールが伸びて山へ向かう登山電車
その心地よい響きは紛れもなく ここスイスが『鉄のモニュメント』『鉄の郷』
また、ミニ蒸気機関車が客車を押しながら登るロートホルン鉄道も……。

また、蛇足ながらスイスアルプスの山々は氷河にその岩肌を削られ、幾重にも複雑に重なった地層が見え、谷には複雑な地層変化が顔を出
ます。そんな姿はアルプスにおいてみるとみるで、鉱物資源が顔を出しているに違いないと思わせる。
そんな マツターホルン周辺の氷河が削った青い谷では磁石が青い石に吸い付けられました。
角閃石質の青い谷がひろがって、そんな岩には磁石が吸い寄せられました。
もっとも 氷河が岩を削り流れ下る河は白濁した急流で 砂鉄はまったくありませんでした。

■ アイガーハーのちょうど 真ん中にアイガーヴァント駅がある 肉眼を凝らすとその窓が見え、夜には灯りがともる



■ アルプスの氷河の谷に峠を越えて伸びる 氷河特急



■ おもちゃのようなSLがブリエンツ湖の岸からロートホルンの山を登る



■ マッターホルンの谷は青い谷 その岩に磁石が吸い寄せられた



グレンツ氷河の下で

フィンデル氷河の下で

磁石が吸い寄せられた マッターホルン周辺 青い谷

